



職員室だより

2026. 3. 12発行

前回の職員室だよりから3か月が経ちます。寒い寒いと思っていた日々から、あっという間に春がやってきたような今日この頃。保育所の園庭の木々は、すでに新芽が顔を出してきました。季節の移ろいを子ども達と一緒に、こうした自然で感じています。

年長さんは、いよいよ卒園を迎えます。今、年長さんが夢中になっているのは『聖地巡礼』と称した名所巡り。これは、お正月遊びでカルタを楽しみ、『環ふるさとカルタ』で環の名所を知り、実際にその場を訪れたことがきっかけで始まりました。

今は、『富津ふるさとカルタ』の名所巡りも行っています。自分達のふるさとである、環や富津に愛着を持ち、自分達の目で確かめる・・・私達職員も、改めて富津の魅力を感じています。もちろん3月までにすべて巡ることはできないので、今後も継続して『聖地巡礼』をしていきたいと思えます。



今回はお出かけの様子が多くなっています。どうぞ、ご家族皆さんで、保育所の子ども達はこんなことを楽しんでいるんだな～と微笑ましくご覧いただけたら幸いです。



【12月】

3日は環小学校の指導補助教員の松本先生が来てくださり、石焼き芋を作りました。小雨が降る中ではありましたが、ドラム缶の中にアルミホイルで巻いたさつまいもを入れると、そのうちいい匂いがしてきました。子ども達も職員も落ち葉で焼き芋は作ったことがあるけれど、石焼き芋は初めてだったので興味津々。おいしい焼き芋におかわりが止まりませんでした。



5日は、1歳児念願の『ふつつんバスデビュー』でした。行先は、消防防災センターです。やっと手にしたバスのチケットを大事に持ち、自分のリュックサックを自分で背負い、気合い十分な1歳児。まだまだ幼いけれど、気持ちはすっかりお姉さんなんです。この気持ちに寄り添い、後押ししてあげることで、グッと成長が見られます。できない部分をそっとフォローしてあげると、自分で出来た！という成功体験が生まれます。その成功体験が、次も頑張ろうという意欲につながります。こうした日々の小さな積み重ねが、子ども達の成長の後押しになるんだと思います。

消防防災センターでは、消防車や救急車に乗せてもらったり、放水訓練、救助訓練を見せてもらったりしました。迫力ある訓練に圧倒されていた子ども達ですが、消防士さんに憧れの気持ちも持ったようです。保育所の前の道路を消防車や救急車が通ると、急いで走っていき、フェンス越しに「頑張っ〜」と手を振っています。



20日は生活発表会がありました。今年度のプログラムNo.1は『峰上歌謡祭』。某テレビ番組の有名なイントロと共にステージの幕が開きました。その瞬間、おうちの方の表情もほころび、和やかに発表会をスタートすることが出来ました。その後は、年齢ごとに興味があるものを発表しました。0歳児のだるまちゃん、可愛かったですね♪1,2歳児も、堂々とした発表ぶりでした。以上児は、みんなで『くれよんのくろくん』を演じたり、男の子チームと女の子チームに分かれて『さくらんぼ』の曲に合わせたオリジナルダンスや『マツケンサンバ』に合わせた竹太鼓を披露したりしました。プログラムが進むにつれ、子ども達の緊張が取れ、堂々とした姿を見せてくれました。私達保育士にとっても、子ども達の成長が見られる行事は、胸にこみあげるものがあります。



発表会の最後に、サプライズもありました。サンタさんから、“発表会頑張ったね”とクラスで遊べるおもちゃが届きました。そして、クリスマス会にも遊びに行くよというお手紙も・・・こうしたドキドキワクワクを味わいながら、子ども達は保育所生活を楽しんでいます。クリスマス会には、1人ずつプレゼントをもらってにっこり満足な子ども達でした。今年はそれだけで終わらず、夕方には別のサンタさんも来てくれるサプライズ！サンビレッジ金谷のオーナーさんが、クリスマス仕様のトゥクトゥクでお菓子を持って来てくれました。子ども達の顔がニコニコしっぱなしだったのは言うまでもありませんね。



【1月】

年末に、お正月に飾る鏡餅をおじいちゃんおばあちゃんと作る予定があったのですが、インフルエンザが流行してしまったので、残念ながら中止となってしまいました。来年度はぜひ開催したいと思います。

鏡餅を作ることはできなかったのですが、年長さんは、収穫したお米の藁を使ってお飾りを作りました。





6日は関尻郵便局へお散歩。毎年、保育所の子ども達が作った年賀状を飾ってくださり、ありがとうございます。こうした形で、地域とのつながりがあること、大変嬉しく思います。年中行事と言われるものは、保育所でも大事にしています。時代の流れと共に、薄れていってしまうものもあるかと思いますが、少しでも子ども達の心の中に残していきたいですね。

8日は高橋市長が年始の挨拶に来てくださいました。この日は、予定では『お米の日』で、釜戸で羽釜ご飯を炊く予定でした。しかし、“林野火災注意報”が発令されており、残念ながら中止。子ども達の大好きな羽釜ご飯でしたが、気を取り直し、畑から大根を収穫し、塩もみをして食べることに・・・。畑の先生“まこっちゃん”のおかげで、それはそれはたくさんの大根を収穫することが出来ました。

思っていた以上に、子ども達に大根の塩もみの人気があり、お代わりをする子が続出。高橋市長にもおすそ分けすると、「おいしいね～」と喜んで頂きました。そしてちょっぴり大人の味の塩もみを、モリモリ食べる子ども達に驚かされていました。日頃から、身近に野菜があり、自分達で育てて収穫し、調理をするという経験のおかげかもしれませんね。



27日には、お正月遊び会を行いました。毎日のように、カルタをやっているのですが、この日は大会として楽しみました。年長さんが全員にメダルを用意するというサプライズもあり、子ども達は大喜び。また、お隣の環小学校校庭で凧あげもさせていただきました。保育所の園庭でも凧あげをしていたのですが、みんなで遊ぼうとするとぶつかってしまう・・・ということから、浅倉校長に相談させていただき使わせてもらうことになりました。当日は、ほぼ無風・・・ではありましたが、子ども達は広い校庭を存分に走り回り、凧あげを楽しむことが出来ました。凧あげの後は、なんと「リレーもやる！」と張り切る子ども達。保育所の園庭の何倍もある校庭を見事、走り切っていました。授業時間であったにも関わらず、校庭を快く使わせて下さりありがとうございました。



30日は、『環ふるさとカルタ』『富津ふるさとカルタ』にある高后山自然動物園と市民の森へ出かけました。今回は、1,2歳児も園外で給食を食べるという初めての経験です。バスに乗るだけでなく、給食も園外で食べるということに、ワクワクが止まらない1,2歳児でした。高后山では、元気なサルに、ちょっと驚きつつも、話しかけながら餌をあげる姿がほほえましかったです。スタッフの方が写真を撮ってくださり、会報誌にも掲載して下さいました。身近にありながら、来たことがないお友達もいたので、これを機会にご家族でも行ってみてください。子ども達はサルの動きを見ながら、いろいろなことを想像したり、話かけたりしますよ。そんな姿がまた可愛らしいです。



高后山自然動物園の次は、市民の森へ。ここでは、千葉県森林組合の方による木育授業も行っていただきました。森の役目を聞いた後、ふつつんが印刷されているコースターに色付けをするという活動でしたが、1,2歳児も一緒に楽しむことが出来ました。木育授業の後は、お待ちかねの給食です。今回は、保育所から保育課在籍の管理栄養士さんに給食を運んでもらい、管理棟の中で食べさせていただきました。日頃から、栄養士さんが「たべもの教室」をやっておき、子ども達はすっかり顔なじみです。一緒に給食を食べながら、話も弾んでいました。市民の森も、きれいに管理されており、広い芝生の広場で思い切り走り回ってきました。まだまだ、知られざる名所がありますよ♪



【2月】

3日は節分。子ども達は、節分の由来の話を聞いたあと、鬼のお面を作りました。その後は、鬼のお面を被って園庭に行き、保育士が豆の代わりに投げる玉に当たらないように逃げる・・・というゲームを楽しみました。年長さんは、イワシの頭とヒイラギで【やいかがし】を作り、全クラスの入口に飾ってくれました。残ったイワシは、もちろん焼いていただきました！

4日は、みなと幼稚園の創立50周年記念事業があり、観劇に招待いただきました。天羽地区の小学校、保育所、幼稚園がすべて集まり、みんなで『オズの魔法使い』のミュージカルを見ました。なかなかミュージカルを見る機会はないので、とても貴重な経験となり、子ども達は迫力あるステージに釘付けとなって見ていました。



6日は、竹岡保育所へ・・・。竹岡で『久治製パン』を営んでいる白井さんご夫妻が、長年、ボランティアで竹岡保育所の子ども達にパン教室をやっておき、今回、峰上保育所の子ども達も一緒に体験させていただきました。パン生地の柔らかさを実感したり、メロンパンがどうやってできるか知ったり、子ども達は初めての体験にワクワクドキドキしていました。



10日には、消防署員立ち合いの避難訓練がありました。保育所では、毎月、様々な災害を想定した避難訓練を行っています。年に一度、署員立ち合いでの訓練も行っています。この訓練では、実際に非常ベルを鳴らし、119番通報もしており、職員の訓練にもなっています。子ども達は非常ベルの音に驚いていましたが、泣くことなく素早く避難できました。実際に非常ベルが鳴っている中で119番通報をすると、電話の音がよく聞こえなかったり、職員の声掛けも聞き取りにくかったりすることもわかりました。もちろん、災害はないに越したことはありませんが、いざという時のためにしっかり訓練をしていきたいと思えます。訓練の後は、署員の方から避難するときのお約束の話を聞いたり、消防車や救急車に乗せてもらったりしました。



パン作りの次は、なんとピザ作り。13日に、金谷の『ピッツアゴンゾー』の福倉さんご夫妻が子ども達にピザ作り体験をさせていただきました。竹岡保育所、金谷保育所のお友達と一緒にお店を訪問し、実際にピザ窯で焼くところも見せていただきました。自分達でトッピングして、焼き立てのピザを食べるといって何とも贅沢な体験です。子ども達は「おいしい！おいしい！」と食べていました。パン教室もピザ作りも、どちらも地域の方のご厚意です。まさに、生の職業体験。ご協力に感謝いたします。白井さん、福倉さん、ありがとうございました。



13日はもう一つ・・・お迎え時間に合わせた『公開リズム』がありました。日頃から、みんなで行っているリズムなので、今年度は未満児も一緒に『公開リズム』に参加しました。ピアノの音をよく聞き、動いたり、止まったり・・・年齢によって出来る動きは違うけれど、まずは楽しむことが大前提です。おうちの人が見ているので、ちょっぴり恥ずかしそうにする子、こんなに出来るようになったよと自信たっぷりに表現する子。楽しみ方も表現の仕方も、その子なりのやり方でいいと思います。だって、十人十色ですから。

後日談ですが・・・年長さんがやっていた『かけ縄とび』を3,4歳児もやってみたくてチャレンジしました。結果は・・・自分ではもっと簡単に出来ると思っていたのか、予想以上に難しく、涙をこぼすお友達もいました。年長さんに「どうしたら出来るようになるの？」と聞くと、「練習」とひと言。この「練習」という言葉に、保育士達はどれだけの重みを感じたかわかりません。もちろん、年長さんも始めからできたわけではありませんでした。うまく出来なくて泣いたり、ふてくされたりする日もありました。それでも、日々「練習」を重ね、その結果、出来るようになりました。だからこそ、この「練習」というひと言に重みがありました。

オリンピック選手やプロスポーツ選手は、よく「今までの練習を信じて・・・」や「練習は嘘をつかない」といった言葉を使います。今回の子ども達の姿を見て、本当にその通りだなと思いました。コツコツ続けた努力は必ず誰かが見ていてくれ、どこかで花開く時が来ます。そのことを体現してくれたのは、まさに年長の4人でした！



27日には、地元の『聖地巡礼』に出かけました。関の姥石と大わらじです。カルタの読み札や説明書きを読み、私達も改めて言い伝えを知ることができています。3月には、年長さんだけで、佐貫、富津地区の『聖地巡礼』にも出かける予定です。またその時の様子は、職員室だよりでお知らせしたいと思います。



【自然あそび】

子ども達は、毎日の遊びの中に自然を活かした活動もしています。冬ならではの自然事象はまさに、チャンス！氷を探してかき氷屋さんごっこをしたり、実際に自分達で氷作りをしたりもしました。尾坂さんから出荷できない人参を頂いた時は、お店屋さんごっこが始まりました。これから暖かくなると、田んぼや畑の準備も始まります。そんな子ども達の自然を活かした活動が安全にできるよう、所長、総括は“体験活動セイフティリーダー”という資格も取りました。峰上保育所は、あと2年で再配置となります。その2年の間に、この地を活かしたたくさんの自然体験ができるよう、工夫していきたいと思います。



第4号の職員室だよりはいかがでしたか？もっともっと掲載したいことはあるのですが、紙面の関係で絞らせていただいています。保育所の様子は、富津市のホームページにも掲載されていますので、ぜひそちらもご覧ください。そして、毎週金曜日の午前中は、園庭開放を行っています。どうぞ末就園のお子さんがいらっしゃいましたら、保育所に遊びに来てください。（事前に連絡を頂けると助かります）

職員室だよりのご感想やお気づきの点等ございましたら、下記までご連絡お願いいたします。

峰上保育所 68-0080 所長 高林めぐみ